

強制換気システム工事説明書

0708A

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使いかたをしたとき生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告

この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示（例）で区分し説明しています。



記号は、「警告」「注意」を促す内容があることを告げるものです。
図の中には具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描かれています。



記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は一般的な禁止）が描かれています。



記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。
図の中には具体的な強制内容（左図の場合は一般的な強制）が描かれています。

警告

■仕様変更・改造は絶対にしない



火災・感電・けがの原因になります。

分解禁止

■メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造造営物に金属製ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付ける



漏電した場合、火災の原因になります。
（電気設備技術基準第182号）

■アース（D種接地工事）を確実に取り付ける



故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

禁止

■内釜式風呂を設置した浴室に取り付けない



排気ガスが浴室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こすことがあります。

禁止

注意

■本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う



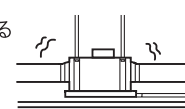
落下によりけがをする恐れがあります。



■部品は確実に取り付ける



落下によりけがをする恐れがあります。



■交流100V以外で使用しない



火災・感電の原因になります。



■浴槽内に壁スイッチを設けない

湿気により、感電することがあります。



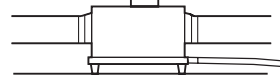
■配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実にを行う

誤った配線工事は漏電、感電や火災の恐れがあります。

お願い

■高温になる場所に取り付けしないでください
製品の変形やモーターの寿命を短めます

周囲温度40℃以上

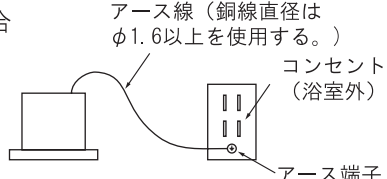


■ドレンパイプを折らないでください
結露水が流れません。



■アース工事をする場合は次のいずれかの方法で行ってください

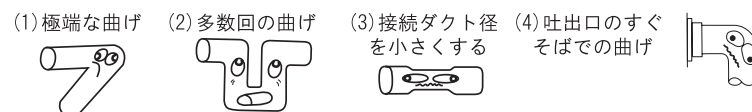
■コンセントのアース端子にアース線を接続する場合
D種接地工事に基づきアース工事を行ってください。
〈注意〉
ガス管や水道管、電話や避雷針のアース回路、または、漏電ブレーカーを入れた他の製品のアース回路には接続しないでください。



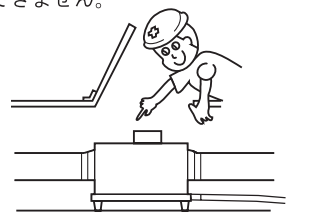
■断熱材で覆わないでください
電源の接続が不完全な場合漏電の原因になります。



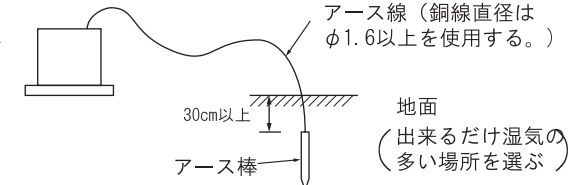
■次のような配管工事はしないでください



■点検口を設けてください
保守点検ができません。

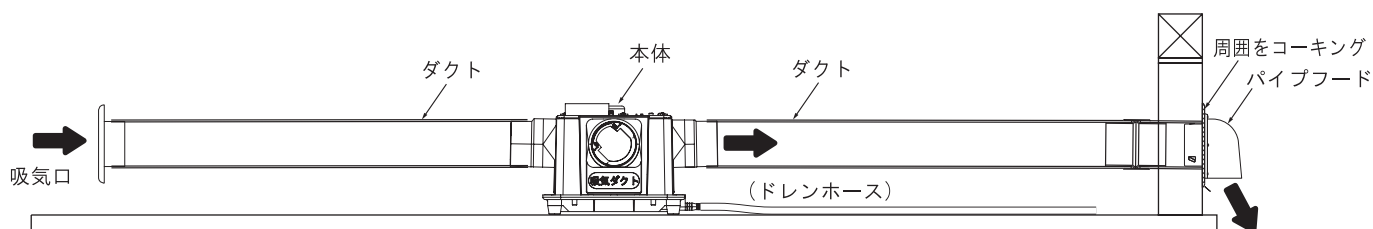


■アース棒を使用される場合



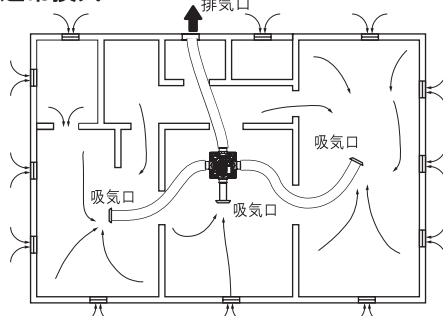
本体設置例

【床置き設置】

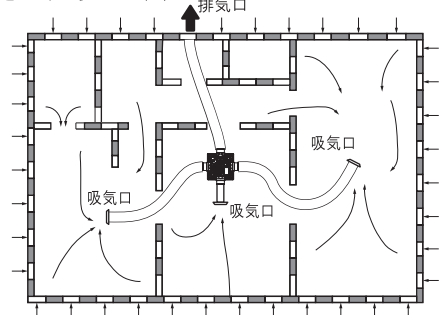


ダクト設置例

通常換気口

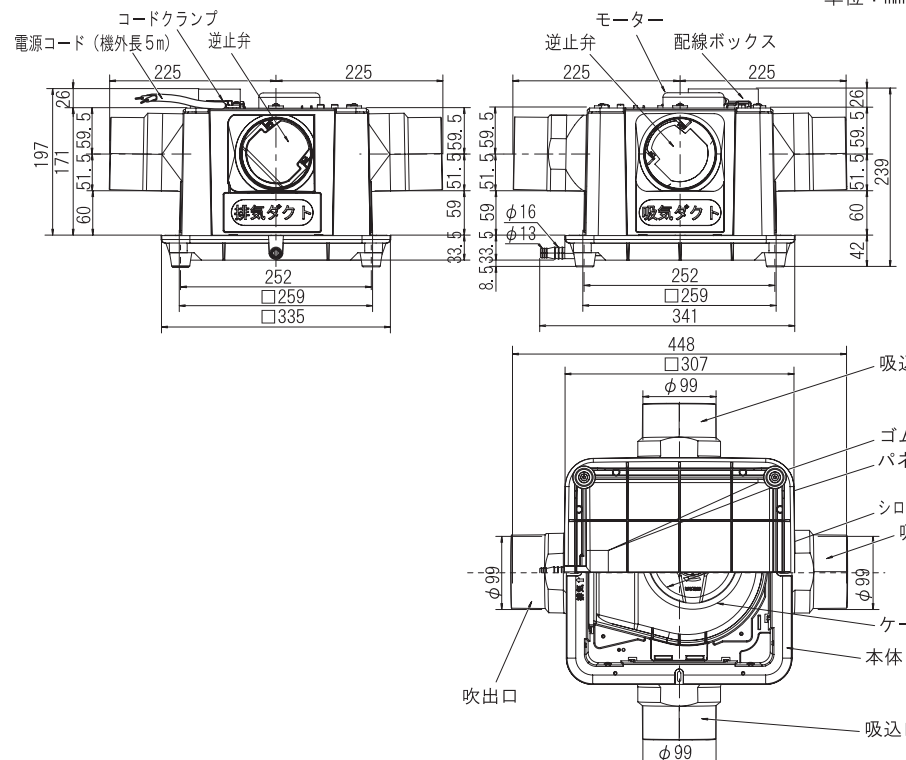


基礎パッキン工法



外形寸法図

【本体】



【付属品】

- 取扱説明書
- 工事説明書
- 取付部材一式

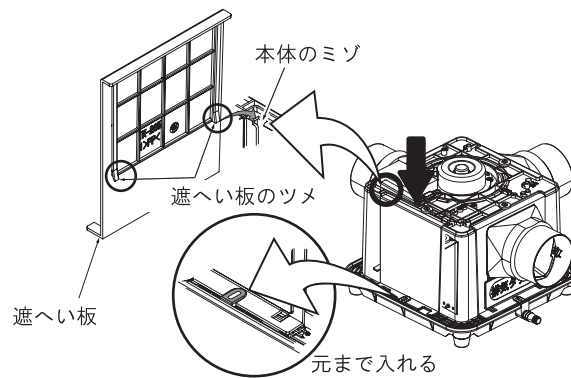
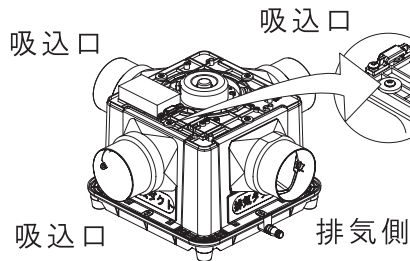
施工方法 以下の手順にしたがって施工してください

1 取り付け前の準備

- ①設置の位置より排気方向（排気側刻印）に対して吸気方向を1ヶ所～3ヶ所を決め、吸込口が必要な部分には吸気ダクト接続口を吸気口が不要な部分には遮へい板を取り付ける。

〈出荷状態〉

- 1) 不要な吸気ダクト接続口の天面固定ねじを外し、吸気ダクト接続口を本体から外す。

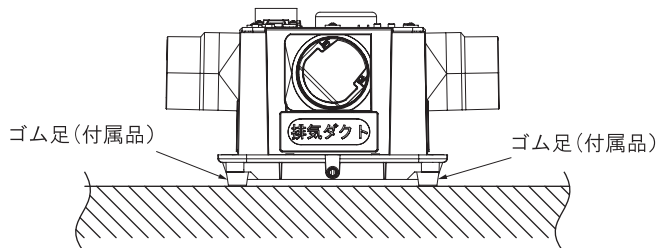


- 2) 遮へい板のツメを本体のミゾに入れ、元まで確実に挿入する。
3) 1) で外したねじで固定する。

2 本体の取り付け

①床置き設置する場合

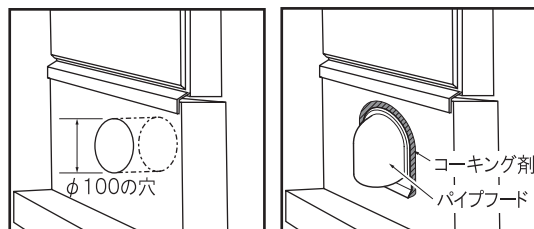
- 1) 本体を平らな所に置き、ガタツキがある場合は板等でガタツキが無いように調整する。



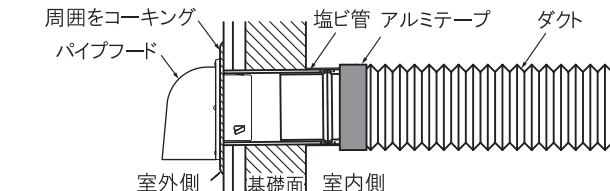
3 ダクト取り付けとドレン処理

①排気側パイプフードの取り付け

- 1) 基礎面に通す塩ビ管の外径(φ100)の穴をあける。
2) 開口した穴に塩ビ管を通し、回りをコーキング剤で固定する。
3) 外壁側にパイプフードを取り付ける。
4) パイプフードの外周をコーキング剤で塞ぐ。
5) 塩ビ管の室内側に継ぎ手を差し込む。
6) 継ぎ手にダクトを差し込み、アルミテープ(市販品)で確実に密封する。

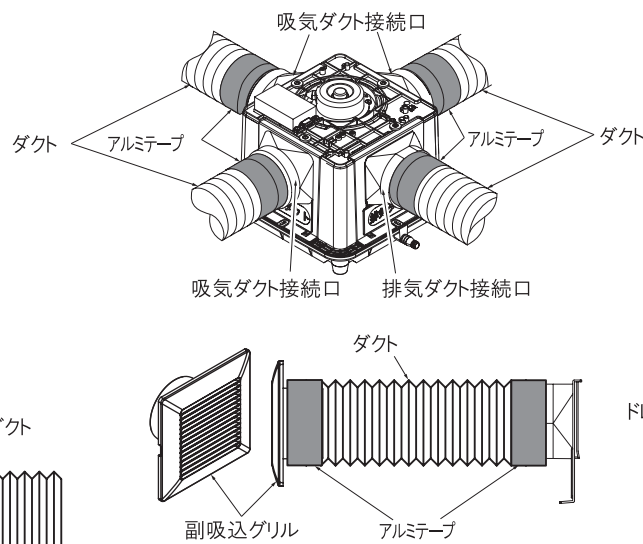


■丸形パイプフード・ペントキャップ等使用するときは、外風や風雨侵入を防止する対策を施してください。



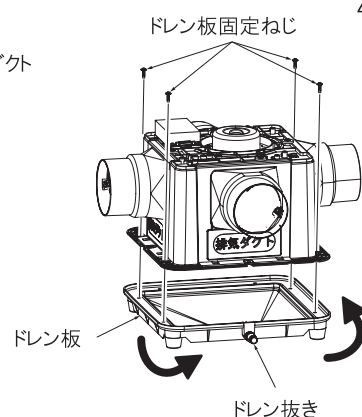
②吸気ダクト接続口と副吸込グリルの接続

- 1) ダクトをダクト接続口に差し込み、アルミテープ(市販品)で確実に密封する。

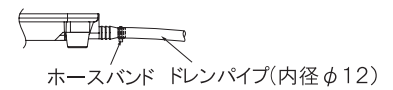


③ドレン抜き方向を決定する

- 1) ドレン板固定ねじ4本を外す。
2) ドレン板を取りはずし、ドレン抜き方向を変更する。
3) ドレン抜き方向が決定したら、ドレン板を本体に合わせ外した固定ねじ4本でドレン板を固定する。
4) ドレンキャップを外し、ドレンパイプ(市販品)を接続する。



■ドレンパイプが軟質塩化ビニル管(φ12)の場合

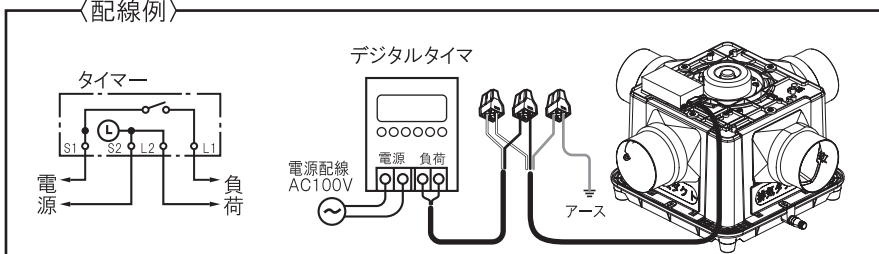


■ドレンパイプが軟質塩化ビニル管(φ15)の場合



4 電源の接続

〈配線例〉



①本体側への接続

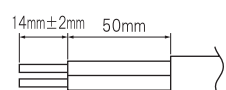
- 1) 適合電線
●単線...φ1.6mm より線...1.25~2mm²
●適合電線以外の使用は火傷や火災の原因になります。
●半田あげ線は絶対に使用しないでください。
不完全接触による発熱、火災の原因になります。

2) 電線の加工

- 単線を使用する場合は、被覆を14mm±2mmむいてください。
●より線を使用する場合、先端加工には絶縁被覆付棒端子を圧着してください。

3) 差込形コネクタへの接続

- デジタルタイマの負荷側からの線と本体側からのリード線(白黒線)を差込形コネクタで接続する。
D種接地工事されたアース線と本体側からのアース線(緑線)を差込形コネクタで接続する。



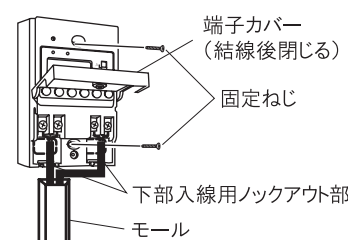
電源コード先端加工
VVF φ1.6



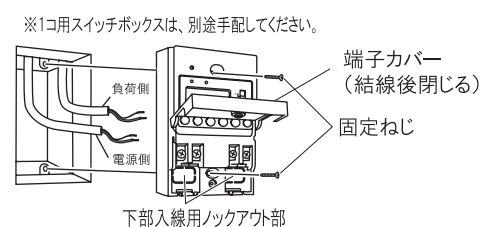
絶縁被覆付棒端子
日圧製:FVTUB-2
(同等品可)

②デジタルタイマの取付及び接続

【壁面露出取付】

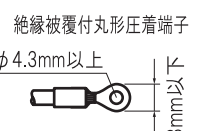


【壁埋込取付】



※1コ用スイッチボックスは、別途手配してください。

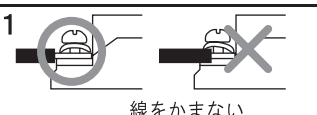
- 1) 端子カバーを開き、取付穴(2ヶ所)に付属のタッピンねじ2本で確実に固定する。
2) 電線はVVFケーブルφ1.6(市販品)か、より線1.25~2mm²を使用する。
3) 電線の先端を12~16mm皮むきし奥までしっかり差し込み、確実に端子ねじを締めつけ電線を接続する。このとき、皮むきした電線部分が露出しないように確実に差し込む。
より線を使用する場合は絶縁被覆付丸形圧着端子(M4)を使用してください。
4) 「電源」側端子に交流100Vを接続し、「負荷」側端子から本機へ接続する。
5) 結線が終了したら端子カバーを閉じ、ねじで固定する。
6) 結線に誤りのないことを確認してください。



⚠ 注意

- 端子は確実に締め付けてください。(適正トルク1.2~1.6N・m)
●端子の座金が被覆をかまないよう締め付けてください。
●負荷を短絡させるとタイムスイッチの故障の原因になります。

図11



線をかまない

5 試運転

- 結線や取付に異常がないか再度確認の上、試運転をしてください。

- 異常音や振動などありませんか？